

平成20年度千葉県立図書館の運営状況の評価

平成21年7月17日
千葉県図書館協議会

1 総 評

総じて、良好に運営され、運営改善に向けた努力がなされている。
特に、県民の課題解決に資する企画展示の実施及び利用者による調査研究の発表の場の設置並びに第三者評価制度の導入などの、新たな取組がなされたことを評価する。
なお、司書の資質向上に努めるとともに、県立図書館の認知度や利用度を高めるよう、広報についての取組を充実されたい。

2 個別評価指標の達成状況の評価

区分	サービス評価指標	達成目標	平成20年度達成状況	評価A～D	摘要
1 所蔵資料の充実	① 資料購入冊数	概ね現状維持 平成22年度目標 20,000冊 (平成19年度実績 20,062冊)	20,245冊 (101.2%)	A	3館の図書購入費が前年度と同額で維持できた。
	② 寄贈資料受入冊数	3年間で1%増 平成22年度目標 8,300冊 (平成19年度実績 8,195冊)	7,186冊 (86.6%)	C	3館で約11,000冊の図書寄贈申込みがあったが、これは例年よりも約3,000冊多かったため、受付・選定に時間がかかり、受入冊数は前年度を下回った。
	③ 千葉県関係資料の受入冊数	3年間で6%増 平成22年度目標 3,200冊 (平成19年度実績 3,006冊)	2,813冊 (87.9%)	C	千葉県関係資料受入冊数の9割近くが寄贈資料であるため、受入冊数は前年度を下回った。
2 来館利用・情報アクセスの充実	④ 来館者数	3年間で1%増 平成22年度目標 508,000人 (平成19年度実績 503,078人)	501,891人 (98.8%)	B	新規の企画展や発表会を開催する等、図書館の魅力をPRし利用促進に努めた。
	⑤ 来館者満足度	3年間で満足度70%以上(満足度6段階の上位2段階)を保ちながら、さらに向上するように努めます。 (19年度実績77%)	73.6% (105.1%)	A	館内研修の充実を図り、業務実例の共有化を徹底し、サービスの向上に努めた。
	⑥ ホームページへのアクセス件数	3年間で20%増 平成22年度目標 580,000件 (平成19年度実績 485,299件)	526,257件 (90.7%)	A	横断検索の参加自治体を増やしたり、企画展示の内容をホームページで公開するなど情報発信に努めた。
3 レファレンスサービスの充実	⑦ レファレンス件数	概ね現状維持 平成22年度目標 32,000件 (平成19年度実績 32,634件)	31,260件 (97.7%)	B	メールレファレンスの定着を図るとともに、行政支援サービスを開始した。ホームページの蔵書検索により、簡易なものは減少し解決困難なものを中心となってきた。
	⑧ 調査研究支援ツール作成件数	レファレンス事例集の充実を図るとともに、パスファインダーの作成に着手します。 a レファレンス事例データ提供:170件 b パスファインダーの作成・更新:30件 (平成19年度実績 a:3件)	a:40件 (※70.5%) b:8件 (※80.0%)	C	調査研究支援ツール作成方法を検討し、後期から作成したため、十分な進捗は図れなかった。
	⑨ 外部データベース件数	平成22年度目標 17件 (平成19年度実績 15件)	15件 (88.2%)	C	3館の外部データベースの導入方法や課題について検討した結果、県民の課題解決に迅速に応えられる法情報データベース等を導入することとした。
4 千葉県関係情報の充実	⑩ 千葉県関係情報の発信	質的充実を図ります。	a:19,163件 (-) b:4回 (-)	A	a:「千葉県関係新聞・雑誌記事索引検索」のデータの入力に力を入れ、前年度の実績に比べ38%増の情報発信ができた。 b:千葉県関係のテーマ展示を3回実施した。また関連部局と連携し県民の課題解決型の企画展示を1回開催した。
	⑪ 資料の電子化	千葉県関係の貴重資料を中心に電子化を行い、利用促進を図ります。 (平成19年度実績 328タイトル)	347タイトル (-)	A	新たに和装本、錦絵、明治時代の人名事典など19タイトルを選定し電子データを作成した。

区分	サービス評価指標	達成目標	平成20年度達成状況	評価 A～D	摘要
5・ 家庭の 教育実 支援	⑫ 学校教育支援・ 家庭教育支援の 質的充実	学校図書館運営の充実や子どもの読 書活動の推進に向けた支援用マニュアル の作成や連携の仕組みづくりに着手 します。	未着手	—	平成21年度着手予定。 「推薦図書リスト」を作成し、学校等 に配布した。
6 児童サ ービス の充実	⑬ 児童サービスの研修 内容の質的充実	児童サービス研修内容の質的充実を 検討し、段階的に充実します。	未着手	—	平成21年度着手予定。
7 障害者 サ ービス の充実	⑭ 録音図書貸出 タイトル数	3年間で 10%増 平成22年度目標8,000タイトル (平成19年度実績7,307タイトル)	8,830タイトル (110.4%)	A	録音図書の目録をインターネット上に 公開したり、電子メールでの録音図書 リクエストの受付を開始する等、利用 促進に努めた。
8 市 町 村 援 助 ・ 図 書 館	⑮ 相互協力貸出冊数	3年間で8%増 平成22年度目標 90,000冊 (平成19年度実績 83,415冊)	88,750冊 (98.6%)	A	市町村立図書館等を訪問し、運営相談 を行うとともに、図書館職員や学校図 書館職員に対して、相互協力マニユ アルやハンドブックを活用しながら利用 の促進をPRした。
	⑯ 協力レファレンス 件数	概ね現状維持 平成22年度目標 2,800件 (平成19年度実績 2,793件)	1,876件 (67.0%)	C	ホームページの蔵書検索により、簡易 なものは減少し解決困難なものを中心 となってきた。
9 職 員 研 修 等 の 充 実	⑰ 体系的・実践的な 研修の実施	体系的・実践的な研修方法を検討し、 段階的に研修の充実を図ります。	未着手	—	平成21年度着手予定。
	⑱ 図書館ボランティア の育成	3年間で 20%増 平成22年度目標 320人 (平成19年度実績 267人)	342人 (106.9%)	A	新たに図書館ボランティア体験講座を 実施した。

※平成20年度達成状況欄の()内は、平成20年度の目標値を未設定のため、平成22年度達成目標に対する率を記載
※⑧の達成率の算定にあたっては、目標値が累計値であるため、平成20年度値は実績値に3を乗じたものとし算出。

【自己評価基準】

ランク	評価内容	評価の目安
A	目標達成	100%以上
B	目標をほぼ達成	概ね90%以上100%未満
C	一定の成果はあった が未達成	50%以上90%未満
D	目標を著しく未達成	50%未満又は未着手
—	評価対象外	次年度以降に着手予定